

# 南海トラフに面した地域・湾に立地する街



## ① 宝永地震(1707年)

規模: マグニチュード 8.6  
死者: 5千人余

震央: 北緯 33.2°  
東経 135.9°



宝永津波の碑

## ② 安政南海地震(1854年)

規模: マグニチュード 8.4  
死者: 数千人

震央: 北緯 33.0°  
東経 135.0°



安政津波の碑

## ③ 昭和南海地震(1946年)

規模: マグニチュード 8.0  
死者: 1,330人

震央: 北緯 32.9°  
東経 135.8°



南海道地震による津波の潮位

## ④ チリ地震(1960年)

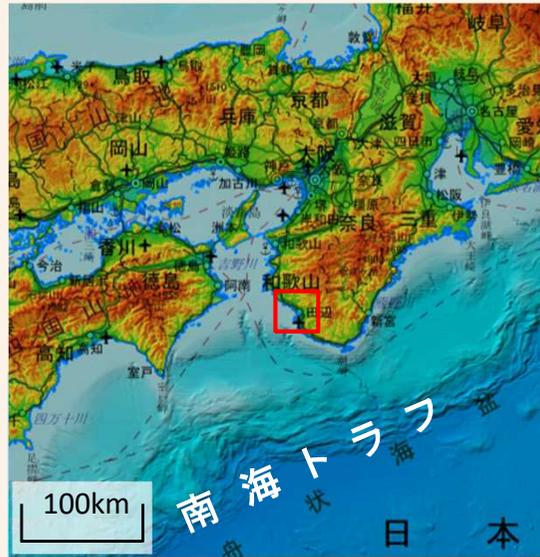
規模: モーメントマグニチュード 9.5  
死者・行方不明者: 142人

震央: 南緯 39.5°  
西経 74.5°



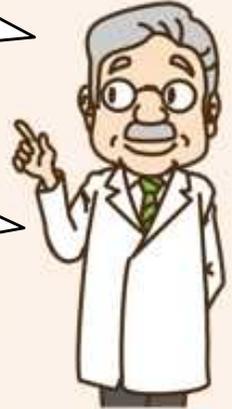
次のスライド  
に解説があ  
るよ

チリ地震津波の碑

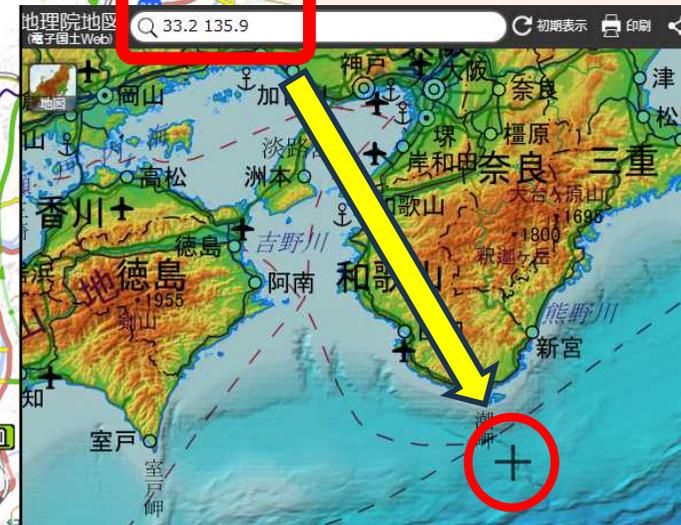


過去の津波被害の様子を地理院地図の自然災害伝承碑の伝承内容から見てみよう。

この地域では、繰り返し津波の被害があるね。なぜだろう？



①～③の震央の緯度と経度を地理院地図に入力して、南海トラフとの位置関係を確認してみよう。



※ 各地震の規模、死者数及び震央の位置は、理科年表2023(国立天文台 編)による

地理院地図で見る自然災害伝承碑(津波)の分布

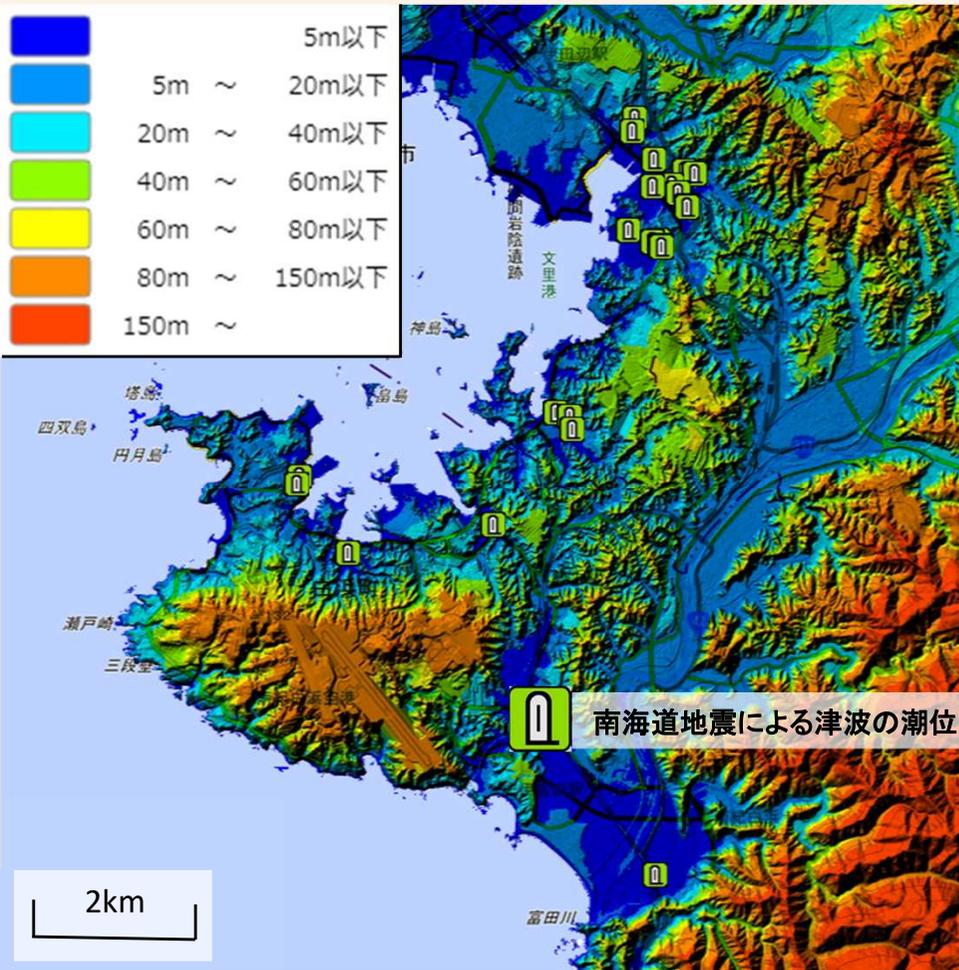
# 内陸の津波被害・太平洋を越えて来る津波

## 昭和南海地震(1946年)

昭和21年(1946)12月21日の昭和南海地震により襲来した津波の到達記録の碑で、津波の潮位を示している。白浜町では、早いところでは地震の約10分後に津波の第1波が到着し、被害は全町に及んだ。死者15名、行方不明者3名、家屋流失42戸等の大災害となった。



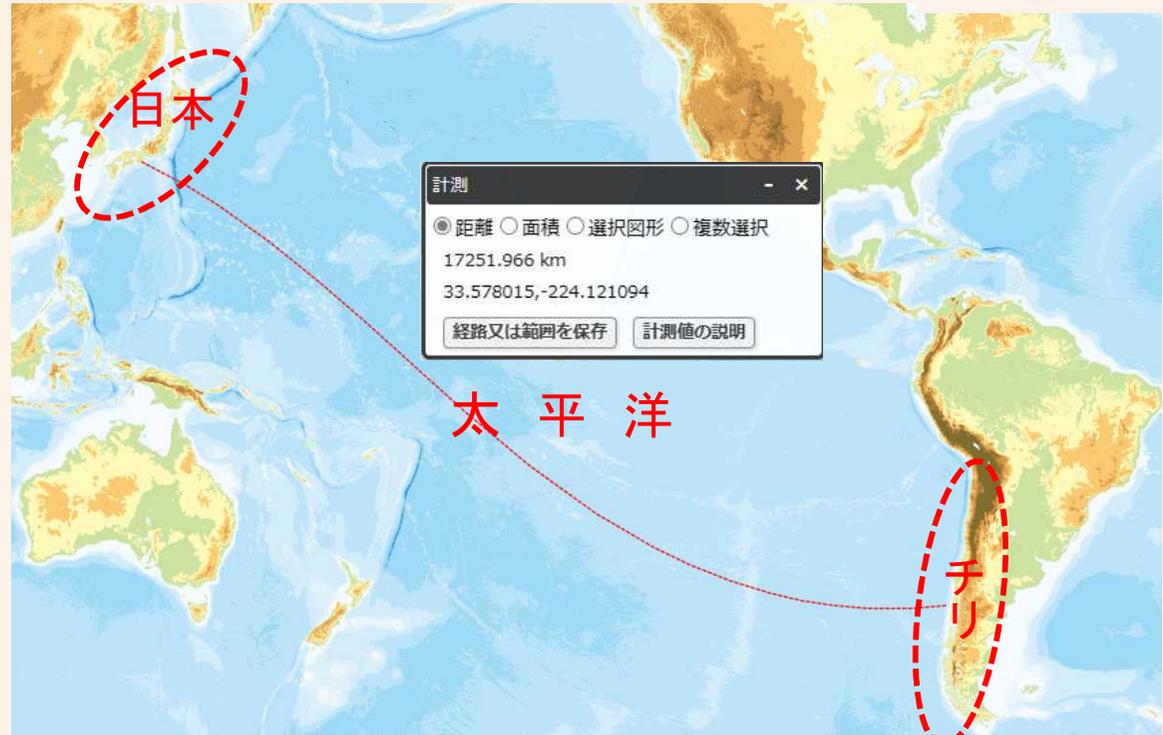
※ 自然災害伝承碑の伝承内容から抜粋 **南海道地震による津波の潮位**



色別標高図でみると地域の地形がよく分かるね。

津波の自然災害伝承碑はほとんどが沿岸部にあるけど、左の写真の碑のように内陸にもあるよ。この地点の標高を色別標高図で確認してみよう。

チリと日本の距離はどのくらいかな？地理院地図の距離計測機能で測ってみよう。



チリ津波の速さを計算してみよう  
チリでの地震発生後、津波は太平洋を横断して約23時間後に日本に到達したよ。時速何kmかな？

地震の揺れを感じない津波  
遠く離れた地域で大きな地震が発生した場合、日本では揺れを感じなくても津波情報が発表されることがあるよ。